

平成28年度学校経営方針
確かな学力・豊かな心・健やかな体

学校教育目標

児童に自信と希望と夢を 保護者に安心と信頼を 地域に連帯感を

目指す子ども像

仲良く・・・互いに尊重し合い、かけがえのない存在として認め合う
元気に・・・自分の良さや可能性に気づき、果敢にチャレンジする
やりぬく子・・・自らの課題の解決に向けて、ねばり強く追求する

キーワード「自信と意欲」

1 キャリア教育の視点を生かした教育活動の推進

「5年後、10年後の子どもの姿を見据えたキャリア発達の促進」

○キャリア教育でつけたい4つの力（京都市キャリア教育スタンダードより）

- ・人とともに社会を生きる力（人間関係形成・社会形成能力）
- ・自分を知り、律する力（自己理解・自己管理能力）
- ・課題を見つけ、解決する力（課題対応能力）
- ・夢や希望をつくりあげる力（キャリアプランニング能力）

○あるべき社会人としての姿をイメージして（みそあじの徹底）

みじたく・・・場に応じた服装や準備・・・自立

そうじ・・・後片付け、整理、整頓・・・責任

あいさつ・・・人と人とのよりよい関係づくり

コミュニケーション能力

じかんをまもる・・・生活習慣と社会のルール・・・規律

○教職員の姿は、最大の教育環境であるという自覚

「子どもや地域から常に見られている」という意識

- ・大人として子どものモデルとなる言動や服装

（大人として、教育公務員としての「みそあじ」）

※正しい言葉遣いと服装のさらなる徹底

- ・子どものあこがれとなる大人の姿（自己を磨く）

- ・ 共通理解と共通実践のできる教職員集団（組織を超えたチームとして）
※報告・連絡・相談のさらなる徹底と共通実践

○教育という視点での環境整備

- 「われ窓理論と教育的刺激」
- ・ 徹底した校内の環境整備と清掃活動
- ・ 豊かな言語環境等の教育的な刺激を与える環境づくり

2 将来の進路展望を拓く確かな学力保障

（１）「基礎・基本の徹底した定着を図る取組」

○帯時間の取組「自信と意欲につながる取組として」

- ・ 朝の読書タイム・・・読書習慣の確立を意識した取組へ
- ・ ぐんぐんタイム①・・・計算能力の向上・各学年の内容や実施方法の統一
- ・ ぐんぐんタイム②・・・言語能力の向上を核に（音読，暗唱，漢字等）
週１回のイングリッシュタイム

○家庭での学習習慣の定着

- ・ 週予定での学習時間・内容の明記と自己評価欄
- ・ 発達段階に応じた内容の検討（自己評価も含めて）
- ・ 自学ノート of 段階的導入

○土曜学習・サマースルー・課外学習

- ・ 積極的参加への働きかけ
- ・ 長期休業中の補習学習として（サマースクール・ウインタースクール等）
- ・ 土曜学習の充実（体験学習と補習学習の実施）
- ・ 放課後の課外学習（低・中・高学年部とＴＴの協力体制）

（２）「思考力・判断力・表現力などの活用型の学力形成を目指した授業」の在り方

○授業研究を中心とした校内研究と授業の充実（学ぶ意欲と学び方の習得）

- ・ 習熟度別指導などの多様なティームティーチング（算数科を中心に）
- ・ 授業における読む，聞く，話す，書く，の言語活動の充実
※各教科で話し合い（言語活動）の意識的導入
※問題解決型の学習形態
- ・ 児童相互の学び合いの導入
- ・ 「ねらい」と「ふりかえり」を意識した課題解決型授業のスタンダード化

○学力分析と個に応じた指導の充実

- ・結果の考察と重点指導の実施
- ・定期テストとしての位置づけ
- ・準備を意識させた家庭学習などの内容
- ・各教科のテストの事前連絡と準備

※4月・・・全国学習状況調査 6年

5年生にも意識させる（過去問題の実施等）

8月・・・ジョイントプログラム 5・6年

1月・・・ジョイントプログラム・プレジョイントプログラム
研究会テスト（全学年）

（3）「外国語活動・英語活動」の充実とコミュニケーション能力の向上

○英語教育強化拠点校事業としての取組の充実

※教科化と小中一貫教育校創設を見据え、9年間の指導計画作成

※研究教科としての位置づけ

- ・各校年間2回の研究授業の実施（4小中学校合同研究としての意義）
- ・週1回の帯時間の設定・・・全校実施
- ・週1回の英語絵本の読み聞かせ・・・全校実施
- ・3・4年生の「英語活動」の実施・・・16h
- ・5・6年生の「外国語活動」の充実・・・35h
- ・全担任の指導力の向上に向けた取組・・・中学校ブロックでの研修会
二の丸北小学校との合同研究

（4）日本語教室を核とした帰国・外国人児童への学力保障

○日本語教室の取組と各学級での指導の連携の強化

- ・日本語教室との連携による普通授業での支援強化
- ・授業のユニバーサル化を目指した取組

3 学習の支えを確かにする人・健・相・生の取組の一体化

※「徹底した児童理解」を基盤としての取組

※「子どもの育ちと成長を支える取組」への深化

- ・積極的な家庭訪問と保護者との話し込み
- ・保護者・児童から学ぶ姿勢
- ・児童に付けたい力、家庭に協力してほしいことを意識
- ・優しく、丁寧に、そして厳しく⇒前を向けるフォローを意識
- ・SC、SSWを核とした関係機関との連携の強化

- (1) 個が生きる，切磋琢磨と協働のある学級集団作り・・・人権教育
 - ・なかよしタイムを中心とした人権学習の充実と人権感覚の育成
 - ・学級経営の充実と学習集団としての育成
 - ・学年の枠を超えたピアサポート活動の導入
 - ・児童会を中心にした子どもの主体的活動（児童集会の充実）
 - ・グループ活動の積極的導入（遠足・集団宿泊的行事など）

- (2) 自らの健康と安全を守る態度の育成と基本的生活習慣の確立
 - ・・・健康安全教育
 - ・「あさごはん・はやおき・はやね」の取組
 - ・週予定等を活用した生活の振り返り
 - ・生活点検週間の事後指導と家庭への働きかけ
 - ・遅刻者への徹底した指導と保護者への働きかけ（遅刻0を目指して）
 - ・自らの健康を守るための主体的態度と技能の育成
 - ・安全指導，避難訓練の計画的実施

- (3) 心の安定と豊かな心の育成・・・・・・・・・・・・・・教育相談
 - ・教育相談週間の設定等，相談体制の確立
 - ・道徳教育の推進（例 心の日の設定）
 - ・ク라마ネといじめアンケートの活用

- (4) 規範意識と学習規律の徹底・・・・・・・・・・・・・・生徒指導
 - ・学習規律の徹底
 - 聞く姿勢の徹底（相手の顔を見て話を聞く）
 - 話し方（場に応じた言葉遣い，語尾まできちんと話す）
 - ・学校のきまりの徹底とその意味の理解

4 小小連携と小中一貫教育の推進（校種間・地域間連携）

「過去・現在・未来と続く学びの連続性を意識した取組」
 ～小中一貫教育校の創設を視野に入れた取り組みの構築～

- (1) 小小連携（横のつながりを意識した社会性の育成）
 - ・向島5小学力向上合同研究「向島地域算数プロジェクト」の推進
 - ・向島中学校区3小学校での連携した取組の開始
 - ・総合的な学習での地域教材や地域人材の活用に向けた取組

(2) 一次統合に向けた取組

- ・教育構想の作成
- ・二の丸北小学校との合同研究の実施（外国語・算数科）
- ・教職員間の交流と児童情報の共有
- ・二の丸北小学校との児童交流・宿泊学習交流
- ・PTA，地域諸団体との調整

(3) 向島中学校ブロック小中一貫教育の具体化

- ・プロジェクト組織の創設と教育構想，教育内容の検討
（英語部会・総合的な学習部会・キャリア教育部会・心を育む教育部会）
- ・オープンスクール・各主任連絡会・合同研修会などの取組の充実
- ・英語教育強化拠点校としての取組
 小学校3年生からの「英語活動」の導入
 向島中学校ブロックとしての取組と9年間の指導計画の作成
 授業研修会の実施と合同研修会

(4) 保幼小高大連携の取組・・・取組と連携の具体化

- ・白菊保育園・野々百合保育園との連携の強化
 1年生を迎える会や運動会・学芸会などでの参観案内
 生活科・総合的な学習での交流会の実施
- ・高校，大学との連携の模索

(5) 地域間連携・・・統合を前提とした校区の枠を超えた協働体制の構築

- ・学校運営協議会の取組の具体化と統合後の組織計画
- ・見守り隊など地域人材の発掘と共有
- ・地域人材の活用に向けた調整